

## 2023年度 総合政策学部 FD 活動方針・活動計画

### 1 2023年度総合政策学部 FD 活動方針

今年度の FD 活動の方針として、主に三点が挙げられる。

- ① 2022年度より新たな内容と態勢でスタートした「総合政策基礎演習B」について、昨年度実施で把握された問題点などの解決を図りながら、引き続き適切な情報共有と点検を行なう。また、「総合政策基礎演習A」「総合政策基礎演習C」と合わせ、学部の初年度教育の基幹となる科目としてより効果的なものとしていくための検討を行なう。
- ② 総合政策学部の履修要項には、その適用対象に応じて日本語を履修する学生/日本語を履修しない学生の2種類の履修要項が存在し、また、春と秋と入学時期の異なる学生が存在することから、複雑なカリキュラムになっている。こうしたカリキュラムを踏まえて確実な学生指導につなげられるよう、教員の知識とスキル向上を図る。
- ③ 近年の学生の多様化やそれに伴うニーズの変化を踏まえ、これからの総合政策学部がめざすべきフィールドワーク科目とはどのようなものなのかについて検討を進める。

### 2 2023年度総合政策学部 FD 活動計画

上記1活動方針に基づいて、以下の項目に取り組んでいく計画である。

- ① Q2の「総合政策基礎演習B」開講前にFD懇談会を開催し、昨年度実施後の点検で出された課題について改善に向けた実施内容を検討する。また、授業終了後できるだけ早期（8月上旬頃）に、その成果など全般にわたって情報を収集し、担当者全員による点検を行なう。それをもとに、次年度に向けて必要な改訂など検討していく。
- ② 学生指導は年中いつでも対応が必要なものであることから、春学期のできるだけ早期にカリキュラムについて情報共有を深める研修会を実施する。
- ③ 夏NAPの実施後、秋学期の適切な時期にFD懇談会を開催し、継続的な情報共有、情報の蓄積も視野に入れる。

以上